



第97号
 西暦2548 (2004・平成16)年
 9月24日発行
 呉市中央7-7-13
 西教寺蔵本通支坊
 TEL0823 (21) 2798
 FAX0823 (21) 2795
 郵便振替番号
 01340-3-29117

・念仏するこころ	岩崎正衛 (住職)	三頁
・台風のお見舞い		三頁
・十月法座追加と日程変更のお知らせ		三頁
・敬悼録		三頁
・新帳場 河野和俊さん		三頁
・新世話人に森政和江さん		三頁
・敬悼 澤原豊次さん		三頁
・敬悼 沖本勝彦さん		三頁
・仏の子夏集い		四頁
・花まつり		五頁
・第四回仏壇農友カンセツク学芸会		六頁
・西教寺長ノ木本坊本堂修繕報告		七頁
・白蓮会入会		七頁
・お礼・お詫言と訂正		七頁
・法座・行事・例会のご案内		八頁

「念仏するこころ」

岩崎 正衛 (住職)

筆者は以前この欄で、ひとりよがりなキリスト教の牧師さんのことを書きました。その牧師さんは、こうおっしゃいました。「私は仏教について、うらやましいと思うことが、二つあります。一つには信者の家に仏壇があること。二つにはお念仏があることです。」云々と。

今年六月十二日夜のNHKテレビで「永平寺一〇四歳の禅師」というのを放映していました。永平寺第七十四代住職宮崎奕保禅師は、一九〇一(明治三十四)年生れ、かぞえて百四歳です。いまでも毎朝三時半に起きて、若雲水といっしょに座禅

せられるのだそうです。永平寺では文字通り、生き仏さまに接するが如く、みんながお仕えしているのです。今年のお正月、永平寺の傘松閣という大広間で年頭の儀式がありました。大勢の僧侶や在家の信者が、威儀をただして坐っています。係りの僧が「ただいま禅師がお出ましになります。皆さん合掌してお迎え下さい」と告げました。一同合掌して待つていると、禅師がお出ましになり、一同お出ましになり、一同に対して合掌されました。

十月法座追加と日程変更のお知らせ
 寺報九十六号でお知らせしました十月ご法座について、記載もれによる追加及び日程の変更をお知らせいたします。

●長ノ木本坊
 秋季永代経法座
 (一)講師の都合により左記の日程で勤修)
 一〇月廿八日(木) 夜席より
 一〇月三〇日(土) 昼席まで

●三津田支坊
 定例法座(記載もれによる追加)
 一〇月十八日(月) 朝席より
 一〇月十九日(火) 夜席まで
 ※昼席はありません
 講師 自勤(西教寺僧侶お取り次ぎ)



台風のお見舞い

このたびの台風十八号は、十六号と同様に考えておりましたところ意外にも大災害となりました。お世話人の報告で、ご門徒の皆さん方の中には、相当の被害を受けられた方があるように聞いております。どうぞ一日も早く復旧復興されますことを心から念じてお見舞いの言葉とさせていただきます。(住職)



その次です、浄土真宗 でしょう。禅宗ですからこういう雰囲気のと「ナマダブ」ではないころでは、自然と「ナマダブナマダブ」のお念仏が出てくるところ